

2020年度 日本医学哲学・倫理学会 公開講座

「死別の悲しみ」にいかに向き合うか ～医療・宗教・芸術を通して考える～

コロナ禍において、これまで当たり前できていた多くのことができなくなりました。この1年余りの間に、私たちは様々な喪失と悲嘆を経験させられてきました。そして、私たちが人生において経験する様々な喪失の中でも、最も大きな悲嘆を引き起こす喪失の一つが、大切な人を亡くすということです。

本シンポジウムでは、死別の悲しみにいかに向き合うことができるのか、宗教や芸術といった側面から光を当てて検討します。そして参加者の皆さんとの議論を通して、死や死別の悲しみを語り合える文化の創出の可能性を模索したいと考えています。

参加費
無料

2021年2月28日(日) 13:30～16:30

オンライン開催(申込締切:2月21日)

安藤 泰至 (鳥取大学医学部)

グリーフケアをめぐる言説とその問題点

平山 恵美子 (藍野大学)

終末期ケアに携わる看護師の苦悩

大河内 大博 (浄土宗願生寺)

亡き人の逝き先と居場所を語る言葉

入江 杏 (絵本作家)

悲しみとともにどう生きるか

司会:山本 佳世子(天理医療大学)

お申し込み方法

お申し込みフォームより
お申し込みください。

URL:<https://ws.formzu.net/dist/S3897922/>



ZOOM ウェビナーでの開催となります。
参加方法の詳細はお申し込みいただいた方にお知らせいたします。

主催団体:日本医学哲学・倫理学会

実施責任者:山本 佳世子(天理医療大学) 連絡先 e-mail: k.yamamoto@tenriyoro-zu-u.ac.jp